

重回帰分析による鉄道遅延の要因判別 (研究の成果発表)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-05-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 高橋, 良武 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10297/00027467

重回帰分析による鉄道遅延の要因判別

高橋良武(工学部数理システム工学科)

鉄道において、列車の遅れは運行の安定性を左右する要素の一つであり、ビッグデータを活用して鉄道遅延の減少につなげる研究が世界的に行われている。近年、国内でも公共交通のオープンデータ化が進み、詳細な運行情報を取得できる環境が広まりつつある。本研究では、東京メトロが提供するオープンデータから朝ラッシュ時に発生する遅延状況のデータを目的変数として、乗降客数、駅間移動人員、乗り換え路線数、出口への経路数、駅間距離の計5種のデータを説明変数とする重回帰分析を行った。その結果、駅間移動人員と駅間距離の2つが遅延に正の影響を与えることが分かった。このことは、遅延に関するデータ分析に対して国内鉄道のオープンデータが有効に利用できる可能性を示している。